

令和7年度 第1回 稲沢市図書館協議会 議事録（要旨）

- | | | |
|---|-------|---|
| 1 | 日 時 | 令和7年5月23日（金） 午後2時から午後3時30分まで |
| 2 | 場 所 | 稲沢市立中央図書館 研修室 |
| 3 | 出席委員 | ①小中学校教頭会代表 岸美千代
②子ども会連絡協議会代表 窪崎香
③図書館ボランティアきらら会代表 田中真由美
④図書館ボランティア音訳グループせせらぎ代表 大目木京子
⑤子育て支援関係者 浅野順子
⑥子育て支援関係者 服部祐子
⑦学識経験者 伊東啓子
⑧学識経験者 安田剛章 |
| 4 | 欠席委員 | 小中学校校長会代表 常盤圭
学識経験者 田中明子 |
| 5 | 会議同席者 | 教育長 渡辺孝雄
教育部長 大口伸 |
| 6 | 事務局 | 館長 塚本ゆかり 主幹 花田陽子 水野正己 |
| 7 | 傍聴者 | なし |
| 8 | 議 題 | (1) 令和6年度図書館事業実績について
(2) 令和7年度図書館事業計画について
(3) 第4次稲沢市子ども読書活動推進計画について
(4) その他について |

【開会】

(教育長)

・・・教育長挨拶・・・

協議事項（1）「令和6年度図書館事業実績について」

(事務局)

協議事項（1）「令和6年度図書館事業実績について」説明（資料「資料1」）。

(委員)

3ページの報告について、その他イベントの映画会「つるにのって」、令和5年度が暴風警報で中止と、令和6年は実施したという説明がありましたが、実績の人数は何人だったのでしょうか。

(事務局)

映画会「つるにのって」の上映については、1日2回の上映になっておりますが、出入り自由の状態で開放型で上映をしております。したがって、人数の方がきちんと把握できない状態ですので、毎年数字は入れておりません。大体人数としましては、毎年同じ作品を上映し

ている傾向もございまして、概ね20人から30人ぐらいと見込んで、大体そのくらいの概数で毎年推移しております。

協議事項（２）「令和7年度図書館事業計画について」

（事務局）

協議事項（２）「令和7年度図書館事業計画について」説明（資料「資料2」）。

（議長）

5ページのこくりプログラミング講座は今年初めての開催だと思いますが、対象が1年生から4年生というのは何か理由があるのですか。

（事務局）

図書館流通センターの方から、こくりプログラミング講座とはどういうものなのかを詳しく伺ったところ、本格的なプログラムの構築ではなく、タブレットを使用して、そこに組み込まれているプログラムを組み合わせ、こくりというロボットを動かす小学校低学年向けのものになりますので、今回は小学1年生から4年生で対象を区切らせていただいております。

協議事項（３）「第4次稲沢市子ども読書活動推進計画について」

（事務局）

協議事項（３）「第4次稲沢市子ども読書活動推進計画について」説明（資料「資料3」）。

（議長）

図書館ホームページの子どものページについては4月から早速スタートしていただいているようですが、何かホームページの子どものページのことで、説明があればよろしくをお願いします。

（事務局）

読書活動推進のための広報啓発の最後のところの新しい取組みのところに、図書館ホームページ内の子どものページによる情報提供ということで、一応年齢層に合わせた形であり詳細ではないですが、基本の本、いわゆる新しい本ではなくて、基本の本のリストを挙げさせていただいております。新着本につきましては、図書館のホームページで紹介してあります。新着本をご覧いただけるような状況にしておまして、それとは別に図書館だよりの子ども向けのいわゆる乳幼児向け、それから小学校向けの図書館だよりを随時掲載していく予定でございます。これにつきましては、今後充実させていく必要がありますので、こちらはまだスタートということで、また御意見などいただければと存じます。

（議長）

その他、学校図書館での読書活動推進ということで、何か学校関係、それからボランティアの関係でお話があればお聞きしたいと思います。

（委員）

学校で電子図書館の本が使えるようになればいいと常に思っています。そうすると、一人1台でタブレットを持っていますので、伝わると思いますが。御家庭のこともあるものですから、カードを持ってくださいとはなかなか言えず、例えば2年生は図書館見学に結構行ったりする

ので、本当はそこで1冊借りられるといいのですが、図書カードを持っていなければそれでもできない。そのカードを持っていないと、というのは壁があるかと思うので、そういうことがなくても学校で子どもたちが市の図書館の方に入って行っていけるといいと思います。

(議長)

希望かと思います。日進市の方では既にそういう取組みを、先進的に取り組んでみえるようですが。稲沢市もこれからICTの方をどんどん推し進められていく中でそういうことも出てくるかと思うので、また教育長先生、教育部長さんにどうぞよろしくお願いいたします。

あの、ボランティアの方できららの方、せせらぎの方のほうで何かあれば。

(委員)

今年の4月から、ようやくお話しの方でおはなし会ができるようになりました。やはりお話しの方だと子どもたちが、今まで研修室で区切って行っていた関係で歩き回ったりとかそういうことも見られましたが、割と個室なので落ち着いた状態でお話が聞けると、ガラス越しに中の様子が見られるので、途中からでも入っていただけるようになりました。コロナ前は割と参加者数が乳幼児向けは30人ぐらい、親子で30人ぐらい入っていた時期もあり、土日は5人ぐらいとか割と少ない時期もあったのですが、4月から再開してからは、かなり子どもと親御さんが入っていただけるようになって、待っていてくださった方もいたんだと、本当にありがたく思っています。

(議長)

せせらぎさんの方は何かよかったですか。

(委員)

先週の日曜日に、著作権法についての講習を受ける機会をいただきました。せせらぎからは3名が参加しましたが、やはり著作権法と言っても、よくわかっていなかったりするのだと思いました。図書館にデジ図書の本を収めていますが、あれが視覚障害の方だけでなく、視覚障害者等に該当する、例えば寝たきりの方とか、そういう方にも読んでいただけるように、全国200人以上が参加していました。図書館側も積極的に取り組んでいただいて、国会図書館への納入もできるようになったので、どこでも聞いていただけるということで、これからも頑張っていきたいと思います。

(委員)

主な施策のところ、各施設の読書環境整備の一番下のところの具体的な取組みの一番下、配本サービス事業の拡大を検討というように書いてあるのですが、現在の配本サービスは小学校だけなのですか。中学校もありますか。今、現在のところが知りたいのと、事業の拡大と書いてあるところを考えると、どのようにイメージされているのか、これから7年から11年までの間に整備されると思いますが、そのところを教えていただきたいと思いました。

(事務局)

まず配本サービス事業に関しましては、先ほど実績の方でも申し上げましたとおり、平成29年から市内の全小中学校を対象として定期的に配付させていただいております。しかしなが

ら、中学校さんですと、やはり授業のスケジュールに合わなかったり、なかなかうまく選定ができなかったりということでちょっと辞退されるケースも若干ございますが、今、一応全小中学校さんの方に配本はさせていただいております。

次に、この新しい試みの配本サービス事業の拡大を検討とさせていただいていますのは、市内の保育園と児童センターさんの方に配本サービスを、小中学校のように定期的にはなかなか難しいのですが、何かしらの形で配本セットの事業拡大ができないかということ、一応担当の指導保育士さんの方にお話を今させていただいているところです。ただ、なぜ検討とさせていただいているかと申しますと、それぞれの施設によって取り組み方とか管理の仕方が異なっていますので、小中学校のように一律にお願いしますというような形にはならないということで、今後検討が必要かと考えております。

協議事項（４）「その他について」

（事務局）

協議事項（４）「その他について」説明。

（委員）

先ほど、子どもの読書の現状ということで、雑誌がどんどん読まれなくなっているということが書かれていて、満足度調査の結果報告書も雑誌について、もう少しあるといいという御意見がありました。自分も雑誌を読まなくなっていると感じ、子どもたちは雑誌を読むことを知らないのではないかと思うのです。それを図書館で、子どもたちに届くところに置いていただくと、子どもたちは雑誌というものがあるのだと、そこから始まり子どもをひきつけると思います。このように話していますが、子ども向けの雑誌はあるのでしょうか。

（事務局）

子ども向け、特に小学生向けの雑誌としましては、かつて昭和の時に当然隆盛だった学習雑誌もほぼない状態で、１年生とあと、小学８年生という総合的な雑誌があるだけでございます。

利用者満足度調査で調査をしまして、小学生対象に調査をいたしますと、雑誌で要望されているのが、男子はコロコロコミックス、女子はちゃおということで、定番になっております。これらを果たして入れるかどうかというのは、かつてコロコロコミックスは平和の方で買っていたのですが、やはりちょっとそういうものということで、買わなくなってしまった経緯、経過もございますので、これについてはなかなか悩ましいところではございますが、また色々と御意見を伺いながら考えていきたいと思っております。

【閉会】

（教育部長）

・・・教育部長挨拶・・・

（以上）